

ご注意



取付の際、TERの先端部（アールリボン先端部）や両脇の角で、怪我をしないようにご注意ください。  
TERは、無理に折りたんだり、曲げたり、自然に反っている状態と逆に曲げたりしないでください。  
TERに損傷や、折れ曲がった個所のあるものは使用しないでください。  
また、自然に反っている状態（注意シールの表示）と逆にしての取付けは、絶対にしないでください。本来の性能を発揮できません。

## はじめに

このたびは、美和ロック（株）製の引戸（ハンガードア）用 通電金具 TER - 9CC をご採用いただき誠にありがとうございます。安全・確実な取付け工事を行って頂くために、本書を用意いたしました。良くお読みいただきご活用ください。  
なお、本説明書は代表例として戸車式ハンガードアへの取付けを基本に描かれています。（図および、絵を作成しています）  
戸車式以外のハンガードアへ設置する場合は、本説明書を参考に取付け位置をご確認ください。不明な場合は本説明書をご提示の上、設置するハンガードアの製造・販売元（各サッシメーカー）様へご相談ください。

## 動作および、取付の概要説明

TER-9CCは、ハンガードア用の通電金具です。ハンガードアに電気錠を採用する場合に使用します。ここでは、動作および、取付についての概要を説明します。設置工事にあたっては、内容を十分ご理解の上作業を行ってください。

### ◆動作説明◆

取付金具（固定側）を支点（中心）として、取付金具（可動側）がドアとともに左右へ移動します。最大有効開口長は、1460mmです。（図1、図3参照）

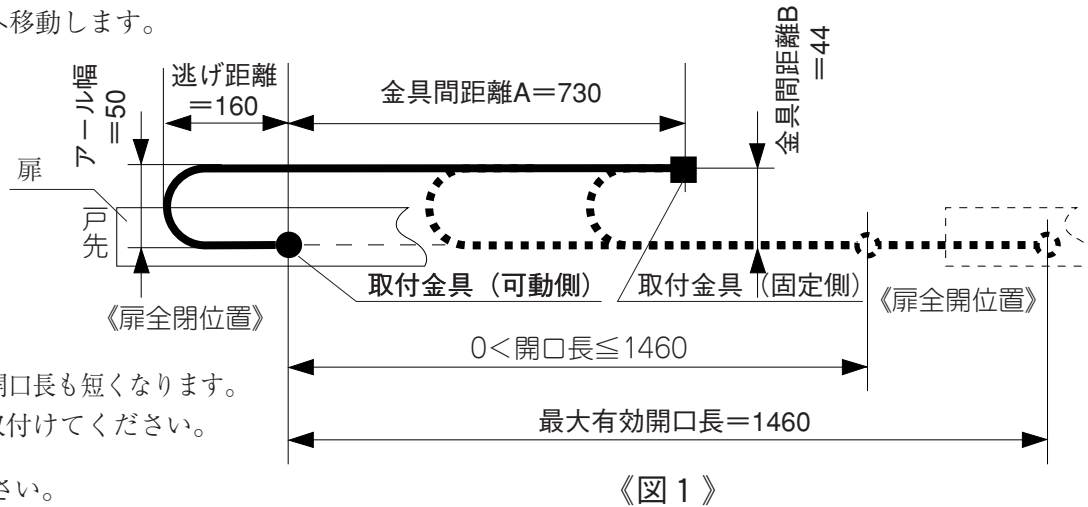
### ◆標準の取付方法説明◆

取付金具（可動側）を戸先側の戸車ブラケットに、取付金具（固定側）を壁（ハンガーレールまたは、背板）に右図1の位置関係（寸法関係）に設置します。通常はこの設置方法を採用してください。開口長0~1460mmのハンガードアに対応できます。

### ◆各部寸法の説明◆

取付け寸法の位置だしは、扉全閉の状態で行います。（戸先側戸車ブラケット利用時）

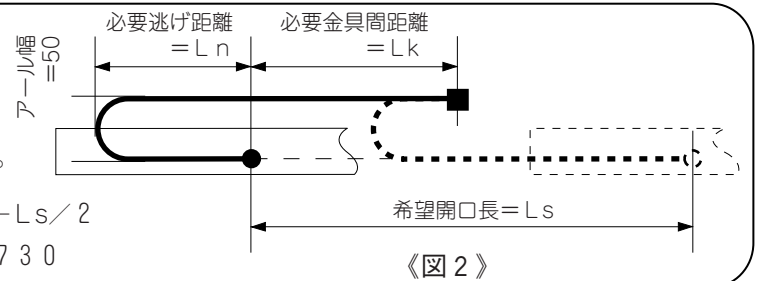
- ①金具間距離A：730mm 可動側取付金具の中心と固定側の中心間の距離です。短くなると開口長も短くなります。
- ②金具間距離B：44mm 可動側取付金具と固定側間の距離です。44~56mmの間で取付けてください。この距離が正しくないと正常に動作しません。
- ③逃げ距離：160mm アールリボン折返し代です。160mm以下にはしないでください。この距離が短いと正常に動作しません。
- ④最大有効開口長：1460mm 本製品使用時の最大開口長です。最大有効開口長1460mmを得るには、閉扉状態での金具間距離730mmを必ず守ってください。



※扉の構造上金具間の距離を730mmにできない場合（最大有効開口長が必要ない場合）

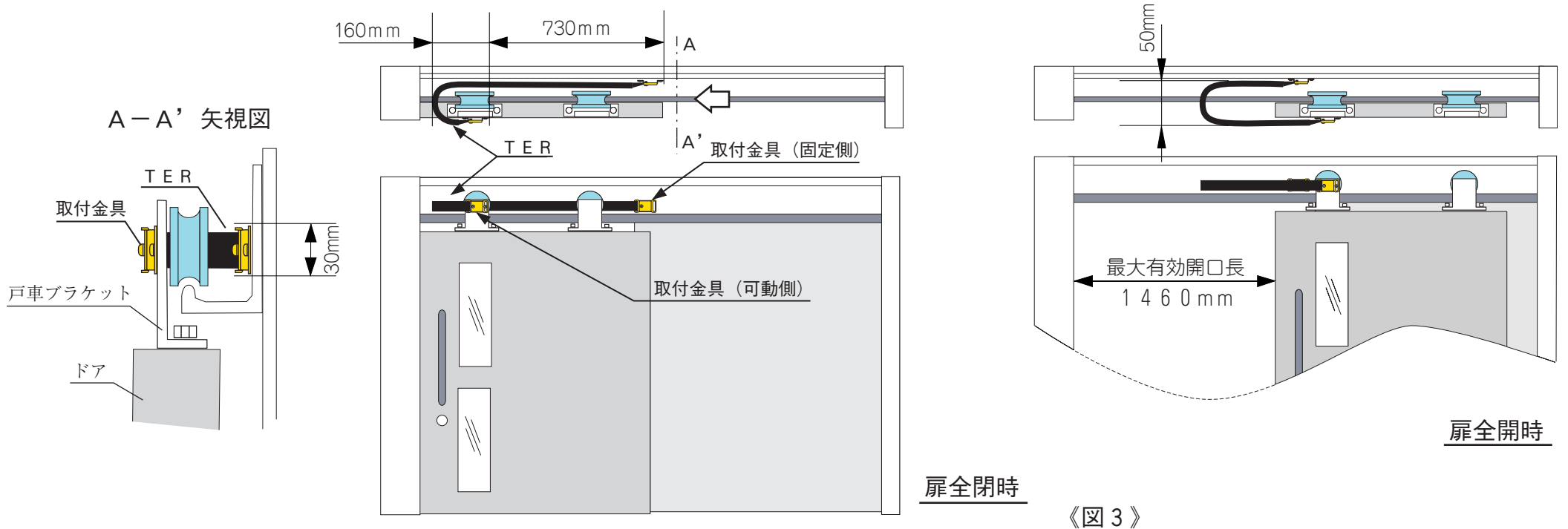
開口長が1460mm以下が良い場合は、右図2の方法でも設置可能です。但し、必要逃げ距離Lnが長くなりますので、可動側取付金具の設置位置を扉の中心へ移動します。したがって、戸車ブラケットの利用ができなくなる場合があります。その場合は、可動側取付金具を設置する持出し金具等（お客様でご手配ください）をご用意ください。各部の寸法は、右記計算式にて算出します。アール幅は、50mmです。

$$\begin{aligned} \text{必要逃げ距離} : L_n &= 890 - L_s / 2 \\ \text{必要金具間距離} : L_k &= L_s - 730 \end{aligned}$$



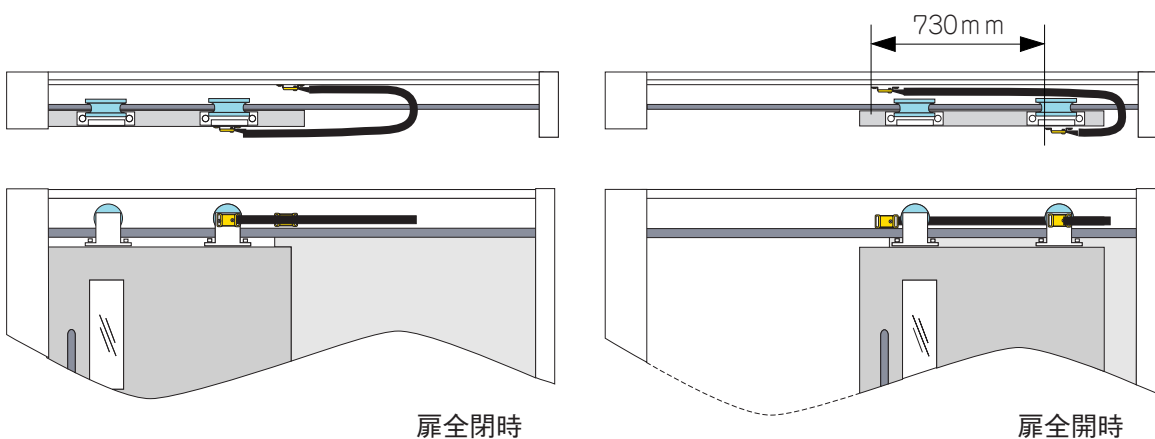
## 取付全体図

◆戸車式ハンガードアの戸先側戸車ブラケットを利用して取付けます。



※その他取付け例 戸尻側ブラケットや、戸車ブラケット以外への取付けも可能です。

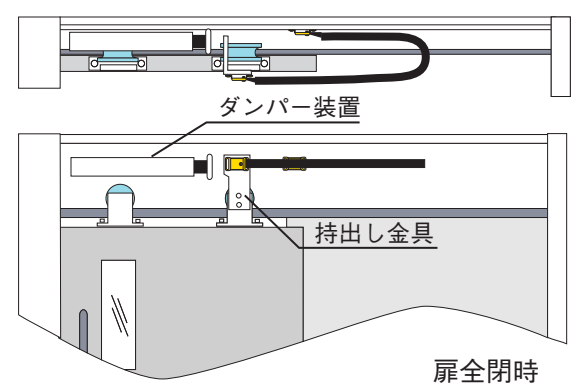
### 【戸尻側戸車ブラケットを利用した取付け例】



※戸尻側ブラケットを利用する場合、取付金具間距離は全開の状態です。

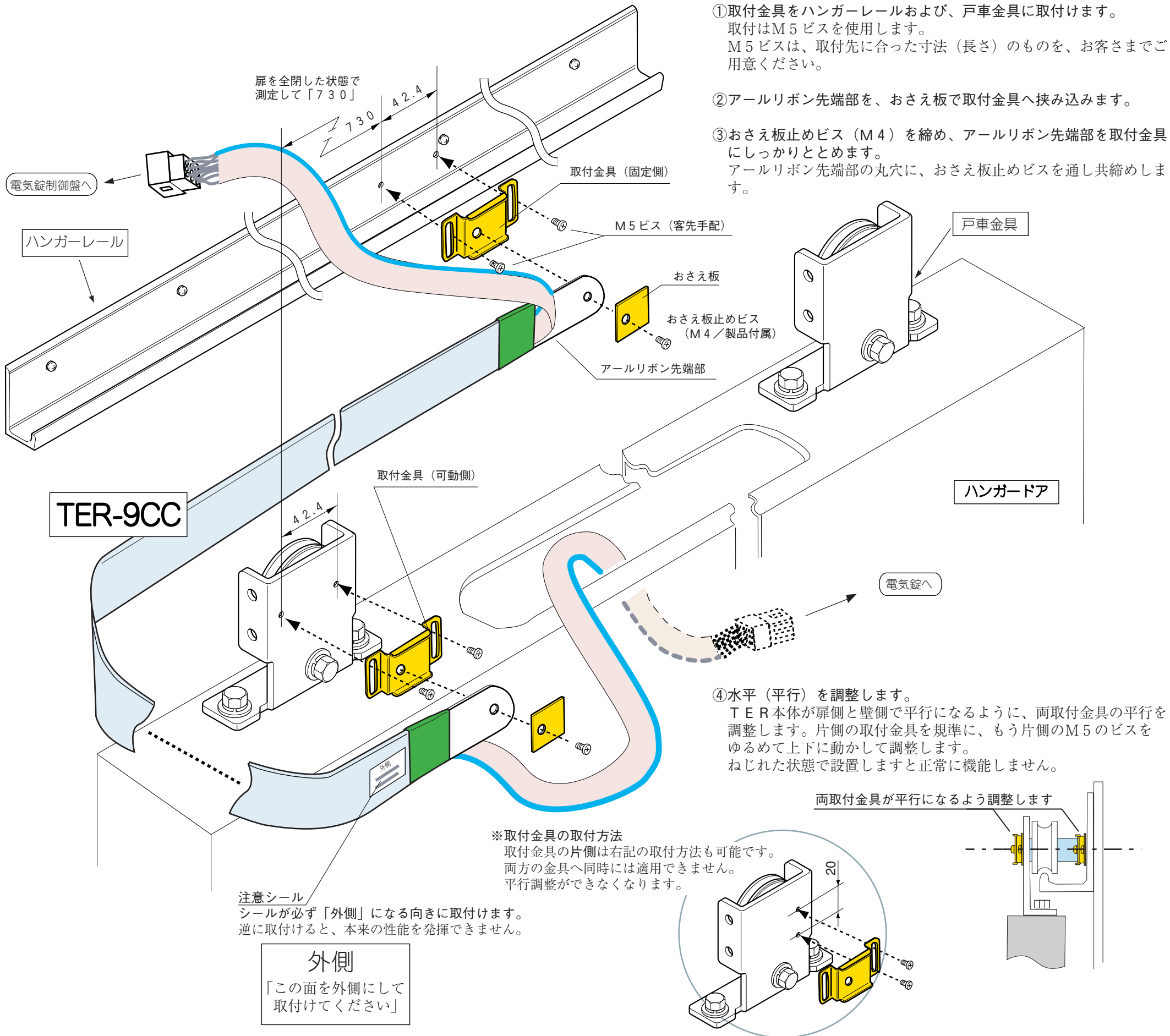
### 【持出し金具（ダンパー用等）を利用した取付け例】

戸車式以外のハンガードアに取付ける場合等に有効です。



《図4》

## ■取付け説明



- ①取付金具をハンガーレールおよび、戸車金具に取付けます。取付はM5ビスを使用します。M5ビスは、取付先に合った寸法(長さ)のものを、お客さまでご用意ください。
- ②アールリボン先端部を、おさえ板で取付金具へ挟み込みます。
- ③おさえ板止めビス(M4)を締め、アールリボン先端部を取付金具にしっかりとめます。アールリボン先端部の丸穴に、おさえ板止めビスを通し共締めします。
- ④水平(平行)を調整します。TER本体が扉側と壁側で平行になるように、両取付金具の平行を調整します。片側の取付金具を規準に、もう片側のM5のビスをゆるめて上下に動かして調整します。ねじれた状態で設置しますと正常に機能しません。

## ■外観図

